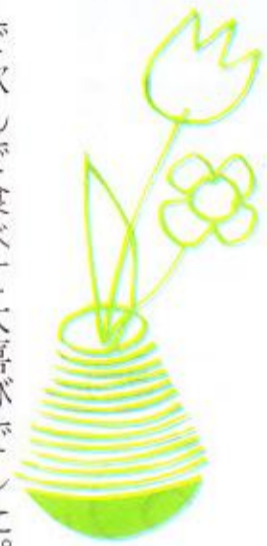


私の趣味



医院内「犬仲間」のお話し

医院内には家で犬を飼っている人のグループ「犬仲間」があり、お花見やバーベキュー等の屋外での社内行事の時には犬を連れて参加したりして交流をしています。

犬の種類はミックス、柴、ヨークシャテリア、チワワ、ミニチュアダックス、ミニチュアシュナウザー等、様々ですが、中でも最近ではMシュナウザー軍団の勢力が強く、グループを席捲しています。と言うのも、このMシュナウザー軍団は兄弟で、取引先の会社の方が飼っていたMシュナウザーを繁殖し、5匹の仔犬が生まれ、その内の3匹を職員が譲り受けたのがきっかけでした。みんなもう1才半になり、それぞれ違った個性が見えてきていますが、集合すると「感動の兄弟再会」とまでは言いませんが、すぐにじゃれあって遊び始めるのは「知らない犬」ではなく「兄弟」ならではののかな?と思います。先日もS&H先生宅で、第二回Mシュナウザー親子&ダックス飼い主大集合のパーティーを開催し、犬達も大喜び、飼い主達もバーベ

キューで飲んで食べて大喜びでした。秋には犬同伴で「犬と泊まれる宿」への旅行も計画されています。仕事をしながら犬を飼うのは、なかなか一緒に時間が取れなかったりして、人懐っこい犬には寂しい思いをさせる事が多いので、犬や人が集まって、思いつき走り回れる場所に連れて行くのは犬にも飼い主にも本当に楽しみな事ですが、ちなみに私は、毎日、赤塚公園で散歩をしています。犬好きな方は、犬連れでも犬連れでなくてもお気軽にお声をおかけ下さい。元来は若干人見知りな私も、愛犬に「かわいい犬ですね」と声をかけられた時はとても人懐っこいですよ!

歯科技工士 N



私

の趣味のコーナーということで、趣味について紹介しなければならぬのですが、今の私にはこれといった趣味といえるものがないので、私が小学生から高校生まで続けた陸上競技について書きたいと思います。

陸上競技は主に、トラック競技とフィールド競技の二つに分けられます。みなさんご存知だと思いますが、トラック競技とは百米、トルや障害、中距離や長距離等の種目を行いません。スタンドから近いせいか、選手の緊張感が伝わり、より一層競技を楽しむことができます。

私は小学生の頃から障害競技を主にやってきました。障害競技は、ハードルを超える時に、いかにタイムを短くできるかが重要なポイントです。大きな大会に出場してくるような選手は走りにムダがありません。ハードルも、跳んで超えるというより、またいでいるだけのように見えます。また、走っている時も、ハードルを越えるときも、頭の位置が変わらないのです。

陸上競技は、サッカーやバレーボールのように国民的な人気、というのはいらないように思いますが、ちよつと見るところを変え、とその競技の楽しさが深まるので、

もし機会があればご覧になって下さい。走・跳・投というシンプルな競技ですが、どのスポーツの原点でもあると私は思います。

高校を卒業してからはほとんど体を動かしていないので、これを引き付けにまた運動を始めたいです。時々、テレビ番組やニュースで、高齢者の方が現役で競技を続けている姿を見ると、私も思わず走り出したくなります。つい自分の競技をしていた頃を思い出してしまい、嬉しかった事や苦しかった事、悔しかった事がたくさん頭の中に浮かんできます。私が陸上競技を長く続けられたのは家族のおかげであり、特に両親の支えがあったからだと思います。学生だった頃は、してもらって当たり前だとばかり思っていました。汚れたジャージや靴下を毎日洗ってくれた母、大会があるたびに競技場まで送ってくれた父、高校を卒業して今年で三年目になり、今更ですが感謝の気持ちを伝えたいです。

歯科助手 K